



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ 御中

令和 5 年 4 月 20 日

岡 山 大 学

国立大学法人岡山大学 2023（令和 5）年度の執行部について

国立大学法人岡山大学（本部：岡山市北区）は、2022（令和 4）年 11 月 21 日に学長選考・監察会議において、2023（令和 5）年度からの次期学長適任者として那須保友理事（研究担当）・副学長を決定しました。

那須次期学長は、「誇りと希望の学都」を掲げ、国立大学法人岡山大学を取り巻く様々な課題に不易流行の法人経営改革に取り組んでいきます。このたび次期執行部の役職者について下記の通りとなりますので、お知らせいたします。

■学長（法人の長及び大学の長）

那須 保友（なす やすとも）

■国立大学法人岡山大学の役職者
1. 理事について（別紙 1 参照）※1

理事（企画・評価・総務担当）	三村 由香里（みむら ゆかり）
理事（教学担当）	菅 誠治（すが せいじ）
理事（医療担当）	前田 嘉信（まえだ よしのぶ）
理事（財務・施設担当）・事務局長	袖山 禎之（そでやま よしゆき）
理事（デジタルトランスフォーメーション・グリーン トランスフォーメーション担当）※2	阿部 匡伸（あべ まさのぶ）
理事（非常勤）（地域共創担当）	佐藤 兼郎（さとう けんろう）
理事（非常勤）（ウェルビーイング経営担当）	藤原 恵子（ふじわら けいこ）

理事の定員は 7 名

※1 昨年度まで置かれていた「理事（研究担当）」は、当法人が計画・実施している研究・産学共創活動の継続性の担保や、わが国における国立大学法人の改革、ならびに研究力・イノベーション創出強化促進等の点から配置せず、学長（法人の長及び大学の長）自ら所管し、先頭に立って取り組みます。（別紙 2 参照）

※2 略記として「DX・GX 担当」と記載します。



PRESS RELEASE

2. 副理事について

企画・評価・総務担当の副理事	
副理事（法務・コンプライアンス担当）	佐藤 吾郎（さとう ごろう）
副理事（SDGs・ダイバーシティ&インクルージョン担当）※3	狩野 光伸（かの みつのぶ）
教学担当の副理事	
副理事（国際教育担当）	石田 衛（いしだ まもる）
研究担当の副理事	
副理事（研究・産学共創総括担当）	佐藤 法仁（さとう のりと）
副理事（研究基盤担当）	窪木 拓男（くぼき たくお）
副理事（研究公正・総合知担当）	遊佐 徹（ゆさ とおる）
副理事（地域共創・ベンチャー担当）	三村 聡（みむら さとし）
副理事（共創の場担当）	林 靖彦（はやし やすひこ）
DX・GX担当の副理事	
副理事（DX・情報セキュリティ担当）	野上 保之（のがみ やすゆき）
副理事（GX・林業・木材・木造建築教育研究担当）	綾野 克紀（あやの としき）
医療担当の副理事	
副理事（新医療研究拠点担当）	成瀬 恵治（なるせ けいじ）

組織改編等により担当の名称が変更になることがあります

※3 ダイバーシティ&インクルージョンの略記として「D&I」と記載します。

■岡山大学の役職者

上席副学長	菅 誠治（すが せいじ）
上席副学長	阿部 匡伸（あべ まさのぶ）
企画・評価・総務担当の副学長	
副学長（学事担当）	佐藤 法仁（さとう のりと）
副学長（附属学校園担当）	加賀 勝（かが まさる）
副学長（ローカル・エンゲージメント担当）	三村 聡（みむら さとし）
副学長（グローバル・エンゲージメント担当）	横井 篤文（よこい あつふみ）
教学担当の副学長	
副学長（入試・教育改革担当）	田中 岳（たなか がく）
副学長（国際・同窓会担当）	鈴木 孝義（すずき たかよし）

組織改編等により担当の名称が変更になることがあります



PRESS RELEASE

■岡山大学病院の役職者

病院長	前田 嘉信（まえだ よしのぶ）
副病院長（企画・総務運営担当）	森実 真（もりざね しん）
副病院長（診療（医科）担当、（兼）防災担当）	増山 寿（ますやま ひさし）
副病院長（診療・研究（歯科）担当）	窪木 拓男（くぼき たくお）
副病院長（教育（医科）担当）	伊野 英男（いの ひでお）
副病院長（研究（医科）担当 ^{※4} ）	和田 淳（わだ じゅん）
副病院長（教育（歯科）担当）	上岡 寛（かみおか ひろし）
副病院長（医療安全管理担当）	塚原 宏一（つかはら ひろかず）
副病院長（看護・患者サービス担当）	岩谷 美貴子（いわたに みきこ）

※4 デジタル田園健康特区担当を含みます



PRESS RELEASE

■主な経歴

別紙 1

学長（法人の長及び大学の長）

那須 保友 （なす やすとも、NASU Yasutomo） 博士（医学）

就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2027（令和9）年3月31日
主な経歴	1986年4月 岡山大学医学部附属病院 医員 1986年7月 社会保険広島市民病院 医師 1989年4月 財団法人積善会附属十全総合病院泌尿器科 部長 1991年4月 岡山大学医学部附属病院 講師 2003年10月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 講師 2004年4月 岡山大学大学院医歯学総合研究科 助教授 2005年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教授 2007年4月 同 准教授 2010年1月 岡山大学病院新医療研究開発センター 教授 2013年9月 岡山大学病院 副病院長 2015年6月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 2015年8月 岡山大学 副理事 2016年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 2019年4月 岡山大学 理事（研究担当）・副学長 2021年4月 岡山大学学術研究院医歯薬学域 教授（兼務）



理事（企画・評価・総務担当）

三村 由香里 （みむら ゆかり、MIMURA Yukari） 博士（医学）

就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	1997年4月 岡山大学医学部附属病院第三内科 医員 1998年4月 岡山大学教育学部 講師 2001年4月 同 助教授 2007年4月 同 准教授 2008年4月 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 2011年10月 同 教授 2014年4月 岡山大学教育学部 副学部長 同大学院教育学研究科 副研究科長 2018年4月 岡山大学教育学部 学部長 同大学院教育学研究科 研究科長 2021年4月 岡山大学 副学長





PRESS RELEASE

理事（教学担当）・上席副学長

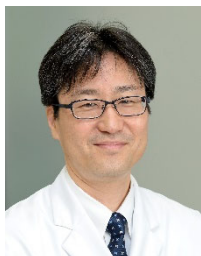
菅 誠治 (すが せいじ、SUGA Seiji) 博士（理学）



就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	1995年3月 日本学術振興会海外特別研究員（オックスフォード大学） 1996年9月 京都大学大学院工学研究科 助手 1999年3月 同 講師 2003年7月 同 助教授 2007年4月 同 准教授 2008年10月 岡山大学大学院自然科学研究科 教授 2013年4月 岡山大学工学部 副学部長 2017年4月 岡山大学 理事（財務・施設担当）・副学長 2017年4月 岡山大学大学院自然科学研究科 教授（兼務） 2019年4月 岡山大学 副学長（特命（理工系改革担当）） 2021年4月 岡山大学工学部 学部長

理事（医療担当）・岡山大学病院長

前田 嘉信 (まえだ よしのぶ、MAEDA Yoshinobu) 博士（医学）



就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	1992年6月 岡山大学医学部附属病院第二内科 医員 1992年9月 神戸市立西市民病院 嘱託医師 1993年9月 滝宮総合病院内科 医員 1994年9月 国立四国がんセンター 研修医・北条病院 医師 1996年6月 岡山大学医学部附属病院第二内科 医員 1997年4月 岡山大学医学部附属病院本島分室 助手 1997年6月 府中中央内科病院勤務 1999年4月 岡山大学医学部附属病院輸血部 医員 1999年10月 同 第二内科 医員 2000年10月 愛媛県立中央病院 医師 2001年11月 ミシガン大学癌センター リサーチフェロー 2004年12月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 助手 2007年4月 同 助教 2009年4月 岡山大学病院 助教 2014年4月 同 講師 2017年7月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授



PRESS RELEASE

2019年4月	岡山大学病院 副病院長
2021年4月	国立大学法人岡山大学 理事（医療担当）・岡山大学病院長
2021年4月	岡山大学学術研究院医歯薬学域 教授（兼務）

理事（財務・施設担当）・事務局長

袖山 禎之 （そでやま よしゆき、SODEYAMA Yoshiyuki）



就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	1988年4月 文部省 入省 1996年4月 埼玉県教育委員会 1998年4月 文部省高等教育局医学教育課 課長補佐 1999年4月 文部省大臣官房政策課 課長補佐 2000年8月 文部省高等教育局企画課 課長補佐 2002年1月 大学評価・学位授与機構評価研究部 助教授 2004年7月 文化庁文化財部伝統文化課文化財保護企画室 室長 2006年4月 文部科学省研究振興局学術研究助成課企画室 室長 2008年7月 文化庁文化部宗務課 課長 2009年7月 文部科学省初等中等教育局 主任視学官 2012年8月 文部科学省研究振興局学術研究助成課 課長 2013年10月 文部科学省高等教育局医学教育課 課長 2014年8月 国立大学法人茨城大学 理事・事務局長 2018年4月 国立大学法人山梨大学 理事・副学長 2021年4月 国立大学法人岡山大学 理事（財務・施設担当）・事務局長

理事（DX・GX担当）・上席副学長

阿部 匡伸 （あべ まさのぶ、ABE Masanobu） 博士（工学）

就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	1984年4月 日本電信電話公社 電気通信研究所 宅内機器研究部 社員 1987年4月 ATR 自動翻訳電話研究所 音声処理研究室 研究主任 1991年3月 NTT ヒューマンインターフェース研究所 音声情報処理研究部 主任研究員 1998年10月 NTT サイバースペース研究所 メディア処理研究部 主幹研究員 2001年4月 NTT サイバースペース研究所 メディア処理研究部 グループリーダー



PRESS RELEASE



- 2003年7月 NTT 東日本 ブロードバンドサービス部 担当部長
- 2007年7月 NTT サイバーソリューション研究所 ヒューマンアプライアンスプロジェクト プロジェクトマネージャ
- 2010年7月 岡山大学大学院自然科学研究科 教授
- 2014年4月 岡山大学工学部 副学部長
- 2018年4月 岡山大学工学部 学部長
- 2018年4月 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授
- 2021年4月 岡山大学 理事(特命(デジタルトランスフォーメーション推進)担当)・副学長
- 2021年4月 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 教授(兼務)

理事（非常勤）（地域共創担当）

佐藤 兼郎 （さとう けんろう、SATO Kenrou）

就任時期	2023（令和5）年4月1日
任期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	<ul style="list-style-type: none"> 1978年4月 岡山県真庭地方振興局 1988年4月 地域振興部市町村課 主任 1997年4月 総務部財政課財政 主幹 2002年4月 土木部河川開発課 課長代理 2003年4月 総務部人事課 課長代理 2004年4月 総務部人事課 参事 2005年4月 産業労働部産業振興課 参事 2006年4月 保健福祉部施設指導課 課長 2007年4月 農林水産部農政企画課 課長 2008年4月 総務部 次長 2010年4月 危機管理監 2012年4月 備中県民局 局長 2013年4月 総務部 部長 2015年4月 公営企業管理者 2016年12月 副知事 2020年3月 副知事辞職 2020年7月 公益社団法人岡山県産業振興財団 理事長（～2022年6月） 2022年1月 国立大学法人岡山大学 理事（非常勤） 2022年7月 岡山県企業と大学との共同研究センター センター長





PRESS RELEASE

理事（非常勤）（ウェルビーイング経営担当）

藤原 恵子 （ふじわら けいこ、FUJIWARA Keiko）



就任時期	2023（令和5）年4月1日
任 期	2023（令和5）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
主な経歴	2000年8月 株式会社フジワラテクノアート 取締役就任 2001年1月 株式会社フジワラテクノアート 取締役社長 2001年2月 株式会社フジワラテクノアート 代表取締役社長 2005年4月 山陽放送番組審議委員会委員 就任 2007年9月 全国醸造機器工業組合理事長 就任（～2011年9月） 2011年10月 全国醸造機器工業組合理事 就任 2016年1月 岡山県公害審査会委員 就任（～2021年12月） 2017年10月 岡山県中小企業振興審議会委員 就任 2020年6月 一般社団法人 岡山県溶接協会会長 就任 2022年1月 国立大学法人岡山大学 理事（非常勤）



昨年度まで理事（研究担当）が担当するものとされていた業務は、下記のとおりとなります。

No.	昨年度まで、理事（研究担当）が担当するものとされていた業務	本年度から担当する者 (No.26～29 は学長、研究担当副理事以外の者が担当するもの)
1	研究推進機構 機構長	学長 那須保友
2	研究推進機構 企画戦略室 室長	学長 那須保友
3	イノベーションマネジメントコア (IMaC) コア長	学長 那須保友
4	岡山大学イノベーション創出環境強化本部 副本部長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
5	グローバル最先端異分野融合研究機構 機構長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
6	異分野融合先端研究コア コア長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
7	総合技術本部 本部長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
8	カーボンニュートラル (CN) 戦略室 研究部門長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
9	輸出管理統括責任者 責任者	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
10	自然生命科学研究支援センター センター長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
11	自然生命科学研究支援センター運営委員会 委員長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
12	研究推進委員会 委員長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
13	岡山大学研究推進支援専門委員会 委員長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
14	岡山大学 ABS 指针对策委員会 委員長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
15	設備整備・有効利用推進部会 部会長	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
16	オープンラボラトリー 管理運用責任者	副理事（研究基盤担当） 窪木拓男
17	研究活動調査委員会 委員長	副理事（研究公正・総合知担当） 遊佐徹



PRESS RELEASE

18	岡山大学利益相反マネジメント委員会	委員長	副理事（研究公正・総合知担当） 遊佐徹
19	津島地区研究倫理審査委員会	委員長	副理事（研究公正・総合知担当） 遊佐徹
20	不正防止計画推進室	委員	副理事（研究公正・総合知担当） 遊佐徹
21	総括産学官連携秘密情報管理責任者	責任者	副理事（地域共創・ベンチャー担当） 三村聡
22	岡山大学科学技術イノベーション創出フェロ シップ（OUフェロシップ）事業推進部会	部会長	学長 那須保友
23	岡山大学科学技術イノベーション創出フェロ シップ（OUフェロシップ）タイプA	委員長	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
24	岡山大学科学技術イノベーション創出フェロ シップ（OUフェロシップ）タイプB	委員長	学長 那須保友
25	ウーマン・テニユア・トラック（WTT）教員 の採用の人事委員会	委員	副理事（研究・産学共創総括担当） 佐藤法仁
26	AI・数理データサイエンスセンター	副センター長 （研究部門）	阿部匡伸理事（DX・GX担当） センター長が兼務
27	中性子医療研究センター	センター長	医療担当副理事・大学院医歯薬学総合研究科長 成瀬恵治
28	特定臨床研究監査委員会	委員長	医療担当副理事・大学院医歯薬学総合研究科長 成瀬恵治
29	国際研究拠点形成プログラム推進部会	部会長	主任 URA・研究 IR 統括 松本匡史

所 信 表 明 書

令和4年10月10日

氏 名 那 須 保 友

誇りと希望の学都・岡山大学

～不易流行の経営改革～

学都構想は千葉喬三、森田潔、楨野博史学長が提唱・推進・実質化されてきました。私は、それらがゆるぎなく持続的に発展し続けることを次期学長候補として掲げます。そのためには「不易流行の経営改革」が必要と考えます。

不易流行は松尾芭蕉の俳諧の理念であり、時代が変わろうとも不変なもの・変えてはいけないもの（不易）と、時代の変化、社会の要求や期待に応える形で変化させていかねばならぬもの（流行）と定義します。

大学法人経営での不易流行を以下に示します。

不易：

岡山大学に関わる過去・現在・未来の人々（マルチステークホルダー）の持続的で多様な幸せ（well-being）の実現を追求

流行：

社会情勢を見極め、国立大学法人として政策や地域の思いを先取りし先導する改革・人材育成・教育研究

【具体的な取り組み】

1) 教育

学生は非常に大切なステークホルダーであり、大学の一体的な誇りと希望を醸成する中心的存在です。入学から卒業後も続く「岡大愛（帰属意識）」の醸成は本学の発展に重要で、教職員の「帰属意識」に裏打ちされた「学生愛」が放たれる場づくりも同時に推進します。DXによる入学前から卒業後も継続する教学エンロールメントマネジメント構築に投資を行います。

不易：学修者主体の高度専門・全人的教育

流行：新学習指導要領の対応、質保証体制の構築、DXやリカレント教育の推進

2) 研究

研究大学として注力してきた若手研究者支援や研究専念環境等の研究力強化に加

え、共創の場や学外人材との連携等の充実を強力に推進します。

不易：若手、中堅、シニアが感動と高揚感を感じ誇りと希望をもち、研究に打ち込める場

流行：政策や地域等の連携による「岡大でしか成し得ない研究」の強力な推進

3) 経営・財務・医療

財源の多様化は、法人の経営基盤に必須です。既に関連大型資金の獲得と様々な施策を推進しており、今後も全学展開します。病院は地域医療の要であるとともに他を先導する教育研究臨床の場の強化、国からも評価の高い診療報酬に依存しない取組を推進し、法人経営強化の一翼を担います。

不易：強固で自律的な法人経営基盤の確立、マルチステークホルダーとの信頼に立脚した緊密な連携、地域医療の要

流行：政策や地域等と連携した経営、絶えず医療の要である為の病院改革

4) 適切なリスクマネジメント(ERM)とガバナンス体制による大学法人経営力強化

リスクを経営目標を達成する影響要因とポジティブに捉え実施した「大学全体のリスクマネジメント体制(ERM: Enterprise Risk Management)」は学内外から高く評価されました。全国初のERM推進大学として、新たな価値創造に果敢に挑戦していく組織風土を醸成します。

5) 教職員の人事労務マネジメント強化

「国立大学経営改革促進事業」を通じて、ウォーターフォール型からアジャイル型とのハイブリッドな働き方と組織への転換を進めた結果、効率の向上、帰属意識の醸成、達成感の獲得、対話の推進等の効果が得られつつあり、国や地域からも高い評価を得ています。これを全学に拡充します。さらに心理的安全性が確保され、学生・教職員が資質・能力を十分に発揮し大学の未来をともに創る一員として主体性を持ち活躍できる組織風土を醸成します。

私が学長として選出されたならば、学生・教職員は言うに及ばず、岡山大学に関わる過去・現在・未来の方々の物心両面の幸せ(well-being)を追求した大学法人経営を推進し、岡山大学が地域と地球の課題解決を通して人類社会の持続的発展に貢献する「誇りと希望の学都」を目指します。